

戦評用紙

令和4年度

北河内地区 秋季大会

R5年 1月28日 時刻10:00

女子 【準決勝】

枚方

56

[

21-8
10-14
12-4
13-6

]

32

楠葉

第1Q

白④⑤⑥⑨⑩、黄④⑤⑥⑦17でスタート。

白⑤のオープニングショットが決まり、白はオールコートプレスを仕掛ける。黄は④17の個人技で応戦するが、白のディフェンスをなかなか崩せない。黄が攻めあぐねている間は、白は④の3P、高さを生かしたカットインや1オン1、⑤、⑥、11の速攻など多彩な攻撃でリードを広げる。黄はTOで流れを止めようとするが、21-8で第1Q終了。

第2Q

白④⑤⑥⑨⑩、黄④⑤⑥⑦17でスタート。黄はDFの強度を上げ、ハーフコート

でプレッシャーをかける。白のターンオーバーを誘い、④や⑤が得点していく。白も④がリバウンドからの得点。⑤の1オン1で対抗する。一進一退の攻防の中、白は11のスティールから⑩が得点。黄も④⑥の3P、1オン1で両者譲らず。攻め合う。31-20で第2Q終了。

第3Q

白④⑤⑥⑨⑩、黄④⑤⑥⑦17でスタート。白は⑤から⑥、⑥から⑨など、2オン2

④の3Pでリズム良く得点していく。黄は④、⑥が1オン1で反撃していくが、白のDFを崩しきれない。白は④が3P、1オン1で得点を重ねていく。残り2分で白のTO。白のDF強度がさらに上がり、黄はミスを重ねていく。白のDFが緩まないまま。第3Qは43-26で終了。

第4Q

白④⑤⑥⑨⑩、黄④⑤⑥⑦17でスタート。白はDFでトラップを仕掛け、黄のミス

を誘う。奪ったボールを④が3P、1オン1で得点していく。黄は⑦の個人技で攻撃を仕掛けていくが

点差を縮められない。白が⑥のペリメーター、⑨の速攻で加点していく。黄も⑤の1オン1で一矢

報いるも、白のDFの手は緩まず、56-32で試合終了。白の強度の高いDFと、それに立ち向かう

黄の個人技が印象に残るゲームだった。

(戦評／門真第二中：北田)

戦評用紙

令和4年度

北河内地区 秋季大会

R5年 1月28日 時刻10:00

女子 【準決勝】

寝屋川一	36	[14-20 11-11 6-11 5-12]	54	樟風
------	----	---	--------------------------------	---	----	----

第1Q

白④⑤⑦⑧⑨、黒④⑥⑦⑩⑪で試合開始。白⑧のレイアップで得点。黒はDF

から流れを作り、パスをまわし得点。白はセンターにボールを入れ、外にパスを展開し、スコアを伸ばしていく。黒は果敢にドライブを仕掛け、ゴール下のシュートを決め切る。

黒④が3Pをブザービートで決め、白14-黒20で1Qを終える。

第2Q

白④⑤⑥⑨⑪、黒④⑤⑥⑩⑪で2Qスタート。黒⑥の3P決まり点差を広げる。

白は⑤⑨がリバウンドを拾い点差を縮めていこうとするが、黒のプレッシャーDFに苦戦する。

お互いに攻め手に欠ける状態が続くが、白⑧の3Pで点差が4点まで縮まる。2Q残り数秒で

またしても黒④がブザービートで得点を決め、白25-黒31で2Qを終える。

第3Q

白④⑤⑧⑨⑩、黒④⑥⑦⑩⑪で3Pスタート。白⑤が45度からドライブを仕掛け

フリースロー1本を沈める。黒④がDFの位置を確認して、ジャンプシュートを決め切る。

白⑨個人ファウルが3回になる。黒⑤が司令塔としてDFを組み立て、多彩な攻撃バリエーション

で得点を重ねる。黒⑩が連続でシュートを決め、この試合で初めて点数が10点に広がる。

白31-黒42で3Qを終える。

第4Q

白④⑤⑧⑨⑩、黒④⑤⑥⑩⑪でスタート。黒は4QになってもDFのプレッシャー

を緩めず、白の得点は3分間動かず、点差が広がる試合展開になる。最終スコア白35ー黒54で

試合終了。

(戦評／諸福中：杉本)

戦評用紙

令和 4 年度

北河内地区 秋季大会

R5年 1月28日 時刻11:40

男子【準決勝】

樟風	72	[18-4 18-12 21-11 15-10]	37	枚方四
----	----	---	---------------------------------	---	----	-----

第1PD	白(樟風)④⑥⑦⑧⑨、青(枚方四)④⑤⑥⑦⑧で試合開始。
白⑦のリバウンドシュートで先制する。その後、白⑥や④の3ポイントや1on1からのドライブで得点を決める。白のオールコートのマンツーマンでプレッシャーをかけ	
なかなか青は攻めきれず。18対4、白リードで1Q終了。	
第2PD	白(樟風)④⑥⑦⑧⑨、青(枚方四)④⑤⑥⑦⑧で開始。
白⑥のドライブシュートで2Qスタート。白⑦のドライブシュートや白④14のリバウンドシュートなどで点数を重ねる。一方の青は白のオールコートプレスにパスを繋いで	
対応し、青⑦などが点数を重ねるが白の確実なディフェンス力と1on1力で	
36対16で2Q終了。	

第3PD	白(樟風)④⑥⑦⑧⑨、青(枚方四)④⑤⑥⑦⑧で開始。
白のするどい1on1が光り、⑦⑨14などが得点を重ねる。また白④や⑩の3ポイントも勢いを	
つける。青も必死にチャンスをつくろうとするが、白のディフェンスにはばまれる。	
白の勢いが止まらず、57対27で3Q終了。	

第4PD

白(樟風)④⑥⑦⑧⑨、青(枚方四)④⑤⑥⑧⑨で開始。

4Qも白の粘り強いディフェンス力が光り、青はなかなか得点させてもらえない。

オールコートプレスからボールを奪い。白⑨がシュートを決める。白はメンバーを

大幅に変えるが、大きくリードしたまま72-37で試合終了。

(戦評/中:)

戦評用紙

令和 4 年度

北河内地区 秋季大会

R5年 1月28日 時刻11:40

男子【準決勝】

長尾	42	[5-11 10-13 13-15 14-14]	53	寝屋川八
----	----	---	---------------------------------	---	----	------

第1PD	白(長尾)00、①、⑧、18、23 黒(寝屋川八)④、⑤、⑥、⑧、14でスタート。
黒⑧の3Pで先制。白も00のミドルシュートが決まり、1点差に。互いに激しいDFを行い	
両チームとも点差を広げることができず、特に白は23の1対1を中心に攻めるが、決めれず。	
終盤、黒⑥の1対1、⑧のミドルシュートが連続で決まり、リードを広げ5-11黒リードで終える。	
第2PD	白(長尾)00、①、11、18、23 黒(寝屋川八)④、⑥、⑧、14、17でスタート。
序盤、黒④のインサイドプレー、⑧のプレーが決まり得点。その後も黒⑧の1対1、④の	
インサイドプレー、⑧のミドルと黒が連続で得点を重ね、リードを広げる。白は1対1を仕掛け	
るも黒の強固なDFに阻まれ、中々得点できない。中盤から終盤にかけて白のボールカット	
からの速攻が決まり差を縮めるが、黒のリードは変わらず15-24黒リードで前半終了。	

第3PD	白(長尾)00、①、⑧、18、23 黒(寝屋川八)④、⑥、⑧、14、17でスタート。
序盤、白①の得点、23のフリースローが決まり差を縮めるが、黒⑧の1対1が要所で決まり	
リードを守る。中盤はお互いのDFを崩せずシュートを打つが決めきれない場面が多かったが	
終盤黒のターンオーバーからの速攻が決まり連続で得点。白は差を縮めることができず	
28-39黒リードで第3Qを終える。	
第4PD	白(長尾)00、①、⑧、18、23 黒(寝屋川八)④、⑥、⑧、14、17でスタート。

白00の3Pが決まり始まるも、黒④が連続で得点しリードを守る。白は23を中心に1対1で

OFを展開し得点する。対する黒は⑧を起点として④との連携プレーが決まり得点し、

リードをしっかりと守る。黒が終始試合を有利に進め、ゲームをコントロールし42-53で

黒の勝利で試合を終える。

(戦評/交野第二中:灰藤)

戦評用紙

令和 4 年度

北河内地区 秋季大会

R5年 1月28日 時刻13:10

女子【決勝】

枚方

44

[

9-12

11-5

4-7

20-13

]

37

樟風

第1PD

白④⑥⑦⑩⑪、青④⑤⑥⑦⑧で試合開始。開始直後黒④の1対1で先制点を

取る。その後白は④の1対1を中心に攻め、ドライブやキックアウトで得点を重ねていく。

中盤に黒⑤のドライブからのカウンスローを決め、黒が流れに乗る。白はチームファールが

貯まるが、ファールをせず持ち堪え、9-12で1Q終了。

第2PD

白④⑤⑥⑨⑩、青④⑤⑥⑦⑩で2Q開始。白⑥のキレのあるドライブで先制。

その後黒は24秒を守り切ったり、ドライブに対してのカバーディフェンスが機能し、白の得点の

チャンスを潰す。しかし3Pシュート、ミドルシュートを狙うがなかなか得点につながらない。両チーム

とも激しいDFで譲らない展開。2Q終了間際黒⑤のドライブが決まり、20-17白リードで前半終了。

第3PD

白④⑤⑥⑨⑩、青④⑤⑥⑩⑪で3Q開始。黒⑩の3Pが2本連続で決まり、20-22

と逆転する。その後も5人の息の合ったDFからの速攻が決まる。対して白は落ち着いたスクリーン

プレーからのドライブインでファールをもらうが得点につながらない。このクォーターはロースコア

の展開となり、互いに我慢の時間が続き、点差も広がらないまま同点となり、24-24で3Q終了。

第4PD	白④⑤⑥⑨⑩、青⑤⑥⑦⑩⑪で4Q開始。黒⑩のドライブで先制したが、直後に
	白⑤のドライブも決まる。黒⑤のアンスポーツマンライクファウル後から白が激しいDFを仕掛け、
	流れを完全に引き寄せる。対して黒は⑤と⑥の3Pが決まり、同点に追いつく。中盤から互いに
	取っては取り返す激しいゲーム展開になる。白⑤と④のドライブが立て続けに決まり、黒はタイム
	アウトを取るが、白がそのまま逃げ切り勝利。両チームともに最後まで諦めずに戦った好ゲーム
であった。	(戦評／交野市立第一中：江田)

戦評用紙

令和 4 年度

北河内地区 秋季大会

R5年 1月28日 時刻13:10

女子【3位決定戦】

楠葉	45	[13-11 14-8 10-9 8-15]	43	寝屋川一
----	----	---	-------------------------------	---	----	------

第1PD	白④⑤⑥⑦17、青④⑤⑦⑧⑨でスタート。試合開始直後白⑥が3Pを決めて先制する。青は⑨がブロックショットやOFリバウンドで活躍し、得点する。白は⑤のドライブや④、⑥の速攻で得点し、青は⑨を中心としたオフェンスをし、白13-青11で第一ピリオドを終える。
第2PD	白④⑤⑥⑦17、青④⑤⑧⑨⑩で第2ピリオド開始。白は17が果敢にドライブするも、相手の高さに阻まれる。しかし、④が外で合わせることで得点していく。青は④の速攻やドライブ、⑧の3Pで対抗する。白27-青19で前半を終える。

第3PD	白④⑤⑥⑦17、青④⑤⑧⑨11で後半開始。両チーム守りが固く、得点につながらない中、白は④、17のドライブで得点する。青はハイピックを起点としたオフェンスを行い、⑤⑧⑨がドライブや外からのシュートで対抗。
------	--

第4PD	白④⑤⑥⑦17、青④⑤⑧⑨11で最終ピリオド開始。白⑤がフリースローやポスト
プレーで続けて得点し、青はタイムアウト。青はOFリバウンドからの得点や、白のリバウンド	
直後にプレッシャーをかけて点差を縮める。残り13秒青は同点に追いつくも、白17がシュート	
を決め、白45、青43の2点差で試合が終了した。	
(戦評／中宮中:北川)	

戦評用紙

令和 4 年度

北河内地区 秋季大会

R5年 1月28日 時刻14:40

男子【決勝】

樟風	66	[22- 5 15- 6 14-13 15-19]	43	寝屋川八
----	----	---	----------------------------------	---	----	------

第1PD	白(樟風)④、⑥、⑦、⑧、⑨、青(寝屋川八)④、⑤、⑥、⑧、17でスタート。
白⑦はセットオフenseから落ち着いて得点すると、その後もスティール、ドライブが冴え、	
立て続けに得点する。また、白はタイムアウト後にオールコートディフェンスで一気に	
流れを引き寄せせる。青は④、⑧を中心に攻め気を見せる。22-5で1Qを終える。	
第2PD	白(樟風)④、⑥、⑦、⑧、⑨、青(寝屋川八)④、⑤、⑥、14、17でスタート。
青は積極的に速攻を狙い、ボールを前へ前へと押し進める。白は⑦、14のドライブ、	
12のインサイドプレーで確実に点を重ねていく。白は1on1の強さを発揮し徐々に	
リードを広げていく。スコアは37-11。	

第3PD	白(樟風)④、⑥、⑦、⑧、⑨、青(寝屋川八)④、⑤、⑥、⑧、17でスタート。
青は立ち上がりから、⑤のドライブ、17の3Pを決め、リズムをつかみ始める。対して白は	
⑦、⑧のドライブ、④の3Pで返していく。互いに流れを譲らず、第4Qを迎える。	

第4PD	白(樟風)④、⑥、⑦、⑧、⑨、青(寝屋川八)④、⑤、⑥、⑧、17でスタート。
青は④のインサイドプレー、⑧の1on1など、本来の持ち味を発揮し始める。白は速攻を	
中心に⑦、④が得点していく。最終スコアは66-43と白に軍配があがったが、両チームとも	
最後までハードにディフェンスをし、走り続け、リングに向かい続けたことで素晴らしい試合	
となった。(戦評/田原中:太田)	

戦評用紙

令和 4 年度

北河内地区 秋季大会

R5年 1月28日 時刻14:40

男子【3位決定戦】

枚方四	55	[9-16 10-10 22- 4 14- 8]	38	長尾
-----	----	---	---------------------------------	---	----	----

第1PD	白(枚方四)④、⑤、⑥、⑦、⑧、黒(長尾)⑩、⑩、⑧、18、23でスタート。
開始直後、黒23が1on1から自分でOFリバウンドをとり先制。その後、黒が白④の1on1に	
対し、OFチャージングをとり流れを掴んだかに思われたが、⑤を起点としてハーフコート	
オフェンスをしっかり組み立てる白も④の3Pや⑤の1on1などで得点を重ね、流れをはなさない。9-16、黒(長尾)リードで1Q終了。	
第2PD	白(枚方四)④、⑤、⑥、⑦、⑧、黒(長尾)⑩、⑧、11、18、23でスタート。
白④のシュートや白⑨から⑦への合わせで3Pを決めると、黒も⑧の1on1や⑩のアウト	
サイドシュートで応戦。その後は両チームなかなか得点が決まらなかったが、残分3で	
黒23がシュートをねじ込んで、15-22とすると白も⑤の技ありシュートでくらいつく。	
19-26と第1Qから得点差変わらず前半を折り返した。	

第3PD	白(枚方四)④、⑤、⑦、⑧、⑨、黒(長尾)⑩、⑩、⑧、18、23でスタート。
白がハーフコートOFから組み立てようとするが、イリーガルスクリーンによるファウル	
トラブルで流れに乗れない。一方、黒もなかなかDFを切り崩せずリズムに乗れない。	
残分4、黒がT. O. をとって流れを切ろうとする。黒23の2Pでなんとか流れを変えようと	
するも、41-30で第3Q終了。	

第4PD	白(枚方四)④、⑤、⑦、⑧、⑨、黒(長尾)00、⑦、⑧、18、23でスタート。
直後、黒18のOFリバウンド、00の1on1、23の1on1から⑦がリングに振り込み、立て続けに	
得点。残分6で41—3となり、白がたまたまT. O. を取る。その後、黒はトラップDFで白を	
苦しめようとするが、白④⑤がボールキープし、落ち着いて得点を重ね55—38で試合終了	
となった。(戦評／枚方四中：真田)	